

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-03-01

APM news 057

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年3月号 vol.134

NO MORE FUKUSHIMA 2011/NO MORE HIROSHIMA 1945

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 117

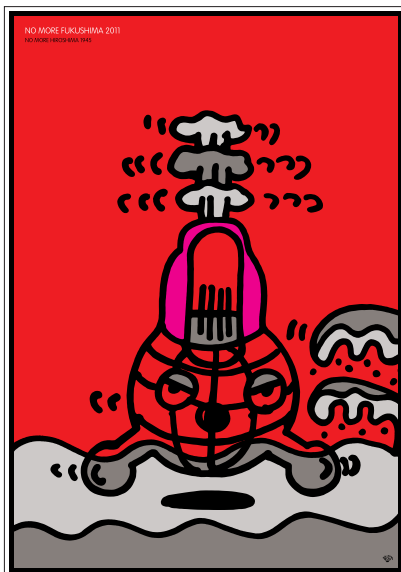
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上箱小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。

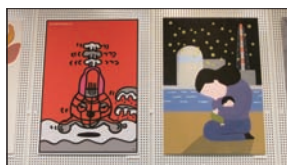


秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



U.G.サトー氏を中心とした反原発ポスター展実行委員会は、ヴィジュアルで訴えるグラフィックデザイナー・イラストレーターの反原発ポスター展を開催した。2011年11月16日から25日の間、桑沢デザイン研究所1階大ホールで海外の著名なデザイナーも参加し200名を越える展示となった。実行委員でもあるべくもポスターを制作し参加した。東日本大震災の災害のなかで原発事故は、遙か想像を超える恐怖だった。この問題は解決不能のメッセージとして理解せざるを得なかった。デザインは、アメリカの原発メーカー元技師ブライデンボラが製作したマーク1のシルエットを擬人化したものだ。元技師は、当時安全性に問題があるため中止の提言をしたが、受け入れられなかった。

[Title] ----- NO MORE FUKUSHIMA 2011
NO MORE HIROSHIMA 1945
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2011
[Client] ----- 反原発ポスター展実行委員会
[Category] --- 社会、エコロジー
[Idea] ----- アメリカの原発メーカー元技師ブライデンボラが製作したマーク1のシルエットを擬人化したものだ。



(上)「展示作品」(左)秋山孝、(右)和田誠
(下)「秋山孝の背景」(左)カリ・ピッポ(フィンランド)、(右)ピオトロ・ムドゼニエツ(ポーランド)」



秋山孝ポスター美術館長岡 冬期休館中

春4月21日(土)より、「ノー・モア・フクシマ」展が始まります。
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com